

会, 1982, 4, 大阪.

4) 横澤隆子, 大浦彦吉, 中川 晔, 近藤昌子, 深瀬真之, 小泉富美朝: アデニン投与実験における生化学的ならびに病理学的研究, (1)代謝変動について. 日本栄養食糧学会総会, 1982, 5, 東京.

5) 深瀬真之, 小泉富美朝, 横澤隆子, 大浦彦吉: アデニン投与実験における生化学的ならびに病理学的研究, (2)腎臓の病理組織学的変化. 日本栄養食糧学会総会, 1982, 5, 東京.

6) 大浦彦吉, 横澤隆子, 井澤敬子, 山本昌弘, 川島裕次: 薬用人参サポニン (ginsenoside) のコレステロール代謝に対する影響. 日本生化学会総会, 1982, 10, 大阪.

7) 横澤隆子, 大浦彦吉, 深瀬真之, 小泉富美朝: アデニン投与による腎結石モデル動物の研究. 日本生化学会総会, 1982, 10, 大阪.

8) 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉, 川島祐次: 薬用人参サポニンの化学構造と生物活性. 和漢薬シンポジウム, 1982, 8, 東京.

9) 大浦彦吉, 長澤哲郎, 渋谷真也, 西岡五夫, 野中源一郎, 原 敬二郎: 大黃の窒素代謝に対する基礎的臨床的研究. 第16回和漢薬シンポジウム, 1982, 8, 東京.

10) 二階堂 保, 大本太一, 三川 潮, 真田修一, 庄司順三, 笠井良次, 田中 治, 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉, 川島祐次: 酵素阻害活性による漢薬有効成分の研究(第11報), 人参, 竹節人参についてその2. 日本生薬学会, 1982, 9, 札幌.

11) 大浦彦吉: 和漢薬の作用機序への生化学的アプローチ (シンポジウム: 漢方方剤の新しい薬効評価). 日本生薬学会, 1982, 9, 札幌.

12) 大浦彦吉, 西岡五夫: タンニンの生理活性とその臨床応用, 天然薬物の開発と応用シンポジウム, 1982, 7, 大阪.

## 病 態 生 化 学

教 授 荻 田 善 一  
助 教 授 中 島 松 一  
助 手 片 山 和 信  
文 部 技 官 林 和 子

### ◆ 著 書

Yamamura K., Ogita Z. and Markert C. L. : The use of chimeric rats in the analysis of the hooded Pigmentation Pattern, Genetic approaches to developmental neurobiology, by Tsukada Y.

(Ed.), 111-120, University of Tokyo Press, Japan, 1982.

2) 荻田善一: ヒト染色体地図と遺伝病 遺伝子組み換え実用化技術第3集, 323-346, サイエンスフォーラム, 1982.

### ◆ 編 集

1) 山村雄一, 荻田善一, 大浦敏明: 先天性代謝病免疫病ハンドブック, 1-833, 代謝第19巻10月臨時増刊号, 中山書店, 1982.

### ◆ 原 著

1) Isobe M., Ogita Z., Yoshida M., Tosu M. and Sekiguchi T. : Epigenetic modulation of the mouse HGPRT gene in interspecific reconstituted cells and cybrids. FEBS LETTERS 144 : 293-298, 1982.

2) 熊谷 朗, 笠貫順二, 寺沢捷年, 土佐寛順, 山本昌弘, 今田屋 章, 矢野三郎, 荻田善一: 生薬製剤に“大峰胃腸丸”の臨床効果の研究——二重盲検法によるシャクヤク(芍薬)効果の比較研究——薬理と治療 10 : 363-371, 1982.

### ◆ 総 説

1) 荻田善一: 血清コリンエステラーゼ異常症(サクサメトニウム過敏症), 代謝(臨時増刊号)19 : 168-169, 1982.

2) 荻田善一: 薬剤過敏症. 代謝(臨時増刊号)19 : 138-139, 1982.

3) 荻田善一: 遺伝子表現の変動とその原因. 最新医学(増刊号)37 : 46-54, 1982.

4) 荻田善一: 血漿酵素蛋白異常総論. 代謝(臨時増刊号)19 : 150-153, 1982.

5) 荻田善一: in vitro の人類遺伝学をめざして, 医学のあゆみ 121 : H-2-H-15, 1982.

6) 荻田善一, 桃井啓子: 染色体クローニングから遺伝子ライブラリーへ. 医学のあゆみ 121 : 530-542, 1982.

7) 荻田善一, 山村研一, 林 和子: 人工キメラ動物作製法と遺伝子表現の解析におけるその利用. 神経研究の進歩 26 : 21-30, 1982.

8) 荻田善一: 生化学的形質としての代謝異常症. 代謝(臨時増刊号)19 : 4-5, 1982.

9) 荻田善一: 遺伝性代謝異常症の発症機構. 代謝(臨時増刊号)19 : 6-7, 1982.

10) 荻田善一: 試験管内人類遺伝子学の展開, 代謝(臨時増刊号)19 : 8-9, 1982.

11) 荻田善一: 家系図の書き方, 代謝(臨時増刊号)19 : 42-43, 1982.

12) 荻田善一: 家系図による遺伝形式の推定. 代

謝(臨時増刊号) 19: 44-45, 1982.

13) 荻田善一: 家系資料による遺伝子分析 (a. 家系資料による遺伝形式の判定). 代謝(臨時増刊号) 19: 46-49, 1982.

14) 丸山由紀子, 荻田善一: 家系資料による遺伝子分析 (b. 遺伝子座間の連鎖の証明, c. 浸透率の計算法, d. 遺伝子頻度の推定法, e. 突然変異率の推定法). 代謝(臨時増刊号) 19: 50-61, 1982.

#### ◆ 翻 訳

1) 荻田善一, 海老原妙子訳: アイソザイム—概念の歴史, 現在の状況, 将来への展望, 医学のあゆみ. 120: 999-1008, 1982.

#### ◆ その他

1) 久保喜一, 荻田善一, 金 溶奎: 進化論的アプローチによるシャコウ類似生薬の開発. 和漢薬シンポジウム 15: 244-247, 1982.

2) 荻田善一: 分子病と遺伝, 「病態シリーズ(III)遺伝」, 41-49, カネボウメディック, 1982.

3) 桃井啓子, 荻田善一, 岩橋寛治: ウサギにおけるアトロピン「証」体質の薬理遺伝学的研究. 和漢薬シンポジウム 15: 240-243, 1982.

4) 荻田善一, 磯部正治, 長田尚夫, 橋中保男, 福西孝信: Deficiency of Adenine Phosphoribosyl transferase (APRT). 人類遺伝学雑誌 27: 147, 1982.

5) 片山和信, 荻田善一: Titration curves によるSOD isozyme の分析—等電点及び垂直式スラブ電気泳動像の対応—. 生物物理化学 26: 280, 1982.

#### ◆ 学会報告

1) Katayama K. and Ogita Z.: Superoxide dismutase isozyme in mouse erythrocytes. 第4回国際アイソザイム学会, 1982, 6, アメリカテキサス.

2) Ogita Z.: Esterase specificities. 第4回国際アイソザイム学会, 1982, 6, アメリカテキサス.

3) 片山和信, 荻田善一: Titration curves による SOD isozyme の分析—第電点及び垂直式スラブ電気泳動像の対応—. 第33回電気泳動学会総会, 1982, 10, 岡山.

4) 中島松一, 上川 浩: B $\alpha$ A 高, 低応答マウスにおけるメチル化 B $\alpha$ A による記憶T細胞応答. 第55回日本生化学会, 1982, 10, 大阪.

## 化 学 応 用

教 授 菊 池 徹  
助 教 授 金 岡 又 雄  
助 手 門 田 重 利  
技 官 松 田 暁 子

#### ◆ 原 著

1) Kikuchi T., Kadota S., Suehara H. and Namba T.: Occurrence of Nonconventional side chain sterols in an Orchidaceous plant, *Nervilia purpurea* SCHLECHTER and structure of Nervisterol. Chem. Pharm. Bull. 30: 370, 1982.

2) Kikuchi T., Kadota S., Nakamura K., Nishi A., Taga T., Kaji O., Osaki K. and Tubaki K.: Dethio-tetra (methylthio) chetomin, a new antimicrobial metabolite of *Chaetomium globosum* KINZE ex FR. Structure and partial synthesis from chetomin. Chem. Pharm. Bull. 30: 3846, 1982.

3) Kanaoka M., Yoshizaki M. and Fujio H.: Studies on the Constituents of *Trichosanthes* Species. I. On the Neutral Ether Extracts of the Dried Roots of *Trichosanthes japonica* REGEL, *Trichosanthes kirilowii* MAXIM. and *Trichosanthes cucumeroides* MAXIM., Chem. Pharm. Bull. 40: 2570-2574, 1982.

#### ◆ 学会報告

1) 菊池 徹, 門田重利, 中村恵子, 西 荒介, 椿 啓介: *Chaetomium globosum* の代謝産物の研究, 抗菌活性を有する Dethio-tetra (methylthio) chetomin の構造. 日本薬学会102年会, 1982, 4, 大阪.

2) 渡辺和夫, 渡辺裕司, 菊池 徹, 劉 端梅: アイヌ民間薬フッキソウ成分 *Pachysandra alkaloids* の中枢興奮作用. 日本薬学会第102年会, 1982, 4, 大阪

3) 菊池 徹, 松田暁子, 久保陽子, 難波恒雄: *Harpagophytum procumbens* DC. のイリドイド配糖体成分について. 第56回日本薬学会北陸支部会, 1982, 6, 金沢.

4) 多賀 徹, 加地種野, 大崎健次, 門田重利, 菊池 徹: Dethio-tetra (methylthio) chetomin の結晶構造. 第32回日本薬学会近畿支部会, 1982, 11, 大阪.

5) 菊池 徹, 門田重利, 柳田一夫, 田中 謙,